

# 子どもたちの「ココロ」にも体力を 防具や竹刀を 担ぐ子ども達で 町をいっぱいにしたい



**湯口博史**  
(こころ剣道教室指導員)  
ゆぐち・ひろし/昭和50年福岡県生まれ、35歳。九州国際大学卒業後、リーフラス株式会社に就職。平成21年、こころ剣道教室発足と同時に指導員として教室運営に携わる。剣道五段

## 子ども主体の剣道教室 個性を見極めて長所をのばす

こころ剣道教室は、平成21年5月に福岡市で子どもを対象とする剣道教室として発足しました。同教室はNPO法人J.F.C.が主催し、リーフラス株式会社が運営しております。リーフラスは、サッカーや野球などのスポーツ教室を全国展開し、子どもたちに体を動かす楽しさや、挨拶や礼儀作法等を身につけるとい志のもと、平成13年8月に創業しました。その後、創業時の社員が剣道を長年やってきたことや、剣道を広めたい、剣道界に何かできることはないかという社員が社内でも数人集まった事がきっかけで、こころ剣道教室は産声を上げました。

現在、教室の指導員は正社員が4名、会員数は園児から小中学生までが250名ほど在籍しています。稽古の回数は週1回。稽古時間は挨拶から着替え、掃除まで含めて1時間半程度です。現在までの主な活動の拠点は東京と福岡および周辺の都市です。主な稽古会場は市の体育館や学校体育館など公共の会場をお借りしています。子どもたちの指導に当たる指導員の経歴や、年齢はバラバラですが、各教室での指導方針までがバラバラにならないように、教室全体としての指導方針を、指導員で統一しています。同教室は指導員を含めた大人が主体の剣道教室ではなく、「子ども主体の剣道教室」であり、指導については「褒めて伸ばす」ことを目標にしています。

「褒めて伸ばす」ということについてですが、これは決して、子ども達を甘やかして迎えるという意味ではありません。稽古の中でできていないことがあれば当然褒めることもしませんし、指導員から激しく、厳しく指導する事もちろんあります。今の子どもたちは昔と比べ環境、生活習慣も随分変わったように思います。ご近所での集まりや、つながりも希薄になりました。そういった環境の中、子どもたちは、体力だけでなく、精神面も弱体化したように感じます。ただ「叱るだけ」「根性を付ける」だけの厳しい稽古では、大人になるまでに、気力が持たないと我々は考えています。様々な環境の中で生きていく子ども達の、体力や性格、個性、生い立ちなど、

考えられる最大限の事を十分に配慮し、一人一人の長所を見つめ、伸ばしてあげられるように声をかけ続け、剣道を通じて、子どもが本来もっている可能性が発揮できるように導いてあげたいと考えています。こころ剣道教室の特色の一つとして、子どもたちを応援する側の保護者との関係が上げられます。一昔前では、お父さんが一家の大黒柱として働き、お母さんは家庭を守るという家庭が多かったように思いますが、今は夫婦共働きで、子どもを育てている家庭も随分増えました。親は子どもに何か習い事をさせたくても、習い事の時間帯が遅く、保護者の手伝いや当番などで、中々生活リズムと合わない悩みがあります。そのため、こころ剣道教室では学校が終わった頃の5時前後から稽古を行います。もちろん保護者が一切子どもをほったらかしにしているという事とはありません。あくまでも子どもたちの為の、子ども主体の剣道教室です。で、気になったことや連絡がある時は、密に保護者とコミュニケーションをとることを心がけています。幸い、とくに見学当番などもないはずが、ほとんどの会員の保護者が稽古中、子どもの様子をずっと見守り続けています。真剣に子どもたちと接する事ができ、お陰様で、活動から約1年で沢山の方々に剣道に興味を持って頂き、非常にうれしく思います。

## 剣道で社会勉強 社会性やマナーを身につける

◎道場訓  
稽古内容につきましては、元氣よく挨拶することから始まり、体操、素振り、基本稽古、応用稽古など、発足し

てから、少しずつではありますが、剣道らしくなってきたと感じております。稽古が終わった後は、手ぬぐいを書かれたこころ剣道教室の道場訓を全員で唱和します。

一、私は剣道に励み、こころと体を鍛えます。

一、私は人に迷惑をかけないようにします。

ます。

一、私は家族を大切にします。

一、私は交通ルールを守ります。

一、私は友達と仲良くします。

道場訓を稽古後に繰り返し読むことにより、自然に社会性や、世の中のルールやマナーが身につくようになっていきます。

## ◎合同稽古

こころ剣道教室では、「子どもは子どもの中で育つ」という定義のもとに、定期的にこころ剣道教室内で合同稽古も実施しています。現在、福岡では10教室の会場で稽古が行なっていますが、その内3教室程が集まり、合同稽古を実施することによって、違う地域の子どもたちが剣道を通じて友達となり、お互いに学び合い、切磋琢磨しながら成長し



手ぬぐいを書いてある道場訓を唱和



創立して2年目。これからますます盛り上がるこころ剣道教室



一人一人の子どもに合わせて声をかけます

私たちがこころ剣道教室は、これから活動も続け、一人でも多くの子ども達に、剣道の良さを知ってほしいと願っています。自分の教室だけ剣道をする子どもが増えたらいいとは思っていません。「自他共栄」という言葉があるように、自分の所も繁栄しながら、地域の剣道教室と連携して活動し、それが、地元の剣道教室として、剣道界全体に波及し、剣道が栄えてほしいと切に願っています。今後とも一緒に頑張って、剣道を通じて子どもたちを強く逞しく育てていきたいと思っています。

## ◎年3回の合宿を実施

その他、年に3回(春・夏・冬)、合宿も実施しています。合宿中は、稽古はもちろんの事、食事の準備、後片付けや、皆でお風呂に入ったり、イベントをしたり、布団を敷いたり等、集団生活をする事によって、協調性や社会性も身に付き、また、親元から離れることによって、普段気付くことのない親の有難さを実感していきます。

こころ剣道教室が発足して一番嬉しかったことは、地元の沢山の先生方に活動のご理解を得て、温かいお声をかけていただいたことです。発足当時、私ども指導員だけでは何もできなかったところでしたが、ご協力くださった先生方には本当に心から感謝しております。